

環境経営レポート

(対象：2023年4月1日～2024年3月31日)



®

エコアクション21

認証番号 0008905



大阪第一作業株式会社

発行日 2024年 5月31日

環境経営方針

当社は、環境問題への取り組みが人類共通の課題であると認識し、企業の社会的、公共的使命を自覚した「良き企業市民」として当社の活動である物流業務から発生する環境負荷の継続的な削減によって、地球環境保全に自主的・積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献すると同時に社会から一層信頼される企業を目指します。

1. 経営に環境を位置付けて環境経営推進をめざし、経営における課題と

チャンスを明確にして環境への取り組みに反映させます。

2. 当社は、次の環境課題に取り組みます。

- (1) 輸送車両の燃費向上・燃料削減、倉庫・事務所の電力削減により二酸化炭素削減に努めます。更に低公害車の導入を推進します。
- (2) 廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します。
- (3) 車両美化に欠かせないトラックの洗車や事務所の節水により継続的な改善に努めます。
- (4) 業務上必要な調達品のグリーン購入に努めます。
- (5) 環境経営目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- (6) 環境教育、啓発活動を通じて全従業員に基本方針を周知すると共に、社員の意識向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献します。

3. 環境関連法規制、条例、協定を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。

4. 本方針を全従業員に周知徹底します。

5. 環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定日 : 平成23年10月 1日

第1回改定日 : 平成30年11月 1日

大阪第一作業株式会社

代表取締役社長

亀井 康宏

1. 組織の概要

(1) 事業所名

社名 大阪第一作業株式会社
代表取締役 亀井 康宏

(2) 所在地

本社営業所 大阪府門真市三ツ島6丁目20番2号
滋賀営業所 滋賀県栗東市出庭507-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 角中 龍彦
担当者 下和田 拓也
連絡先 電話：072-886-1223 FAX：072-886-0808

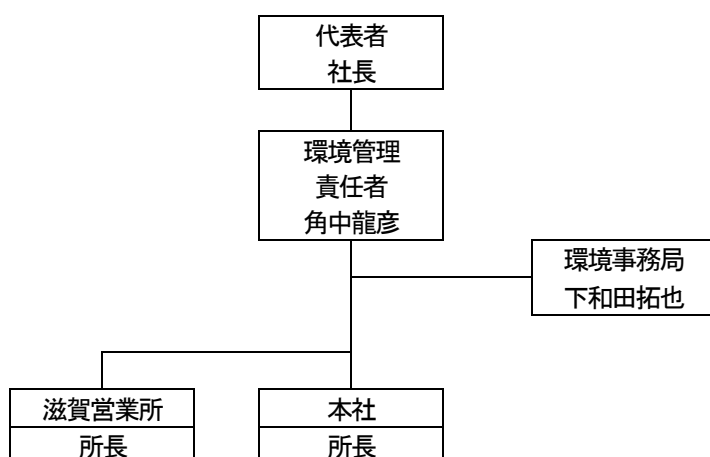
(4) 事業内容： 一般貨物自動車運送業

(5) 事業規模 詳細につきましては、お問合せ下さい（2023年度）

	本社	滋賀営業所	合計
従業員（人）	20	4	24
延べ床面積（㎡）	5,300	500	5,800

(6) 事業年度： 4月 ～ 翌年3月

(7) エコアクション21 取り組み推進体制図



(8) 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 認証登録の対象範囲・活動

(1) 認証登録範囲

登録組織名； 大阪第一作業株式会社
 関連事業所； 本社、滋賀営業所
 対象外事業所； なし
 対象事業活動； 自動車運送業、倉庫業
 全組織・全活動が対象です。

(2) レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象期間； 2023年4月1日～2024年3月31日
- 2) 発行日； 2024年5月31日

3. 環境経営目標及び実績

電力、自動車燃料、総排水量は基準年度の数値を維持にしています。

項 目		H23 年度 (2011 年度)	2023 年度		評価	2024 年度	2025 年度	2026 年度
			(2023 年 4 月 ～2024 年 3 月)					
		基準	目標 基準年比	実績 基準年比		目標 基準年比	目標 基準年比	目標 基準年比
電力使用量 削減(**)	kWh	40,736	40,736	44,822	×	40,736	40,736	40,736
	比率 (%)	100%	100%	110.03%		100%	100%	100%
自動車燃料の 効率的な使用 (事業活動による環境負荷削減)	2t 車軽油 燃比 (km/L)	7.94	8.585	7.86		8.585	8.585	8.585
	比率 (%)	100%	108%	92%		108%	108%	108%
	4t 車軽油 燃比 (km/L)	5.38	5.81	6.01		5.81	5.81	5.81
	比率 (%)	100%	108%	103%		108%	108%	108%
	10t 軽油 燃比 (km/L)	3.11	3.36	2.97		3.36	3.36	3.36
	比率 (%)	100%	108%	88%		108%	108%	108%
自動車燃料 使用量削減 (**)	kL	108	108	95.4	○	108	108	108
	比率 (%)	100%	100%	88%		100%	100%	100%
CO ₂ 排出量 削減(**)	ton・CO ₂	300	300	269	○	300	300	300
	比率 (%)	100%	100%	90%		100%	100%	100%
一般廃棄物 排出量削減	kg	990	856	834	○	856	856	856
	比率 (%)	100%	86.5%	97%		86.5%	86.5%	86.5%
産業廃棄物 排出量削減	kg	410	355	0	○	355	355	355
	比率 (%)	100%	86.5%	0%		86.5%	86.5%	86.5%
総排水量削減(**)	m3	214	214	276	×	214	214	214
	比率 (%)	100%	100%	129%		100%	100%	100%
化学物質使用 量削減	kg	*	*	*	*	*	*	*
	比率 (%)	*	*	*		*	*	*
グリーン購入 比率向上	(%)	46%	63.5%	44%	×	63.5%	63.5%	63.5%
	比率 (%)	100%	138%	69%		138%	138%	138%

(注) 電力の CO₂排出係数 0.418 CO₂kg/kWh (関西電力 2017 年度調整後)、軽油は 2.62 CO₂kg/L

ディーゼルの車種別燃費は平成 24 年度実績をベースとしました。

* 該当がありませんでした。

** 総量目標値は 2020 年度以降、参考値としました。

4. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 2023年度の取組結果とその評価 ○:実施 △:実施も目標未達 ×:目標未達 ××未実施、

目標項目	取組計画	達成状況	目標達成状況を含む「活動計画取組結果」の評価・今後の取組内容
電力削減	休憩時の消灯	○	気候熱帯化と体調管理を優先した為、夏期のエアコンの設定温度が守れなかった。冬期は保温効率と換気を両立でエアコンに負荷がかかった。これからは室内扇風機を使い空気を循環させるなどの工夫をし、電力削減を続けていく。
	空調設定温度(夏期 28℃冬期 20℃)	×	
	倉庫内照明の不必要箇所消灯	○	
	目標達成状況	×	
自動車燃料削減	アイドリングストップ	○	大型車より 2・4t 車運行の比率が高まり燃料消費量は減った。またタイヤの空気圧チェックなどの日常点検を確実にし、適正なオイル交換などの車両整備を行う事によって燃費を向上させ燃料削減に繋げていく。
	エコドライブの徹底(急発進、急停車をしない)	○	
	目標達成状況	△	
一般廃棄物削減	新聞雑誌等の古紙リサイクル回収活用	○	保管する資料の PDF 化により紙使用量の削減に繋がったので、引き続き継続し、保管している資料の精査も同時に行っていく。また、梱包材等は段ボールを分別、資源回収してもらう。
	コピー等の裏紙使用	○	
	目標達成状況	○	
産業廃棄物削減	包装・梱包資材のリサイクル化	○	本年度は産業廃棄物の排出がなかった。
水の消費削減	節水型トラック洗車機の活用、トイレ改修による節水対応	×	洗車機(節水型)の活用を評価項目に加えているため、洗車回数が大幅に増え、節水効果が高くても水量が増え目標が達成できなかった。
グリーン購入	コピー用紙購入時、古紙を利用した用紙を採用・利用	○	グリーン購入対象商品でない高額商品を購入したため目標を達成できなかった。次年度は達成できるよう努める。
	目標達成状況	×	
事業活動での環境改善(軽油燃費向上)課題とチャンス	燃費向上のために、エコ運転実施	○	4t 車は引き続き達成できた。2t 車は地場ルート配送が増え燃費が悪化した。10t 車は地場運行が主になり燃費が悪化した。今後は効率的な配送コースを選定し、目標達成を目指す。
	目標達成状況 (2 t)	×	
	(4 t)	○	
	(10 t)	×	

(2) 次年度の取り組み内容

目標項目	取組計画	担当者
電力削減	休憩時の消灯	角中部長
	熱効率を減じない換気の工夫	
	倉庫内照明の不必要箇所消灯	
	目標達成状況の見える化、情報共有による社員の電力削減の意識化	
自動車燃料削減	アイドリングストップ	下和田課長
	エコドライブの徹底(急発進、急停車をしない)	
	目標達成状況の情報共有化	
一般廃棄物削減	資源ごみとの分別を徹底して一般廃棄物を削減していく	角中部長
	コピー等の裏紙使用	
	目標達成状況の情報共有化	
産業廃棄物削減	包装・梱包資材のリサイクル化	角中部長
水の消費削減	節水型トラック洗車で効率的な洗車、出しっ放し厳禁。	下和田課長
グリーン購入	コピー用紙購入時、古紙を利用した用紙を採用・利用	角中部長
	目標達成状況の情報共有化	
事業活動での環境改善(軽油燃費向上)課題とチャンス該当取組み	燃費向上のために、エコ運転実施	下和田課長
	→車両事故発生件数を減らす	

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

主な適用法規等	該当する活動	遵守状況評価
廃棄物処理法	産廃のマニフェスト制度の適正運用	遵守
道路運送車両法	保安基準遵守、点検整備の実施	遵守
道路交通法	交通違反を犯さない	遵守
フロン排出抑制法	フロンを用いる業務用エアコン等は定期的に点検し、記録する 空調機を廃棄する前に、第1種フロン類回収業者への引渡し	遵守
特定家庭用機器再生商品化法	特定家庭用機器、パソコンの廃棄時、適正な業者により適正な処分を行う	遵守
使用済自動車再資源化法	フロン類の適切な処理	遵守
自動車NO _x ・PM法	自動車排ガス低減のための整備	遵守
消防法	・危険物保管の指定数量以上の許可 ・危険物保管の指定数量以上の危険物取扱者の届出	該当せず
グリーン購入法	環境にやさしい物品を優先的に購入する	遵守
アイドリングストップ条例	アイドリング運転をやめる	遵守

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年以上ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません

6. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

(環境目標及び環境活動計画の達成状況)

・達成した項目と達成できた理由

- ① 軽油燃費向上： 4 t クラス車両で経済運転指導の結果、目標を達成できた。
(4 t) 燃費を月次発表して乗務員に燃費を意識させた。
- ② 一般廃棄物削減： PDF で保管することで紙資源削減に繋がり、目標を達成できた。
- ③ 産業廃棄物削減： ごみの分別を細分化、パレットの補修等により年間通じて発生させなかったため目標を達成できた。

・未達成項目とその理由

- ① 軽油燃費向上： 2 t ・ 1 0 t 車両は運行コース・パターン（地場運行・積卸の回数）により、目標を達成出来なかった。
- ② 電力削減： コロナ禍以降、換気を優先した為、健康管理の面ではエアコンの温度設定が非常に厳しかった。また、猛暑により健康管理優先となった。
- ③ 排水量削減： 節水タイプの洗車機を導入、洗車を評価項目に盛り込んだため洗車回数は増えたため目標は達成できなかった
- ④ グリーン購入： 高額な対象外商品が増えたため目標未達成。

(今後の取組における改善、変更、指示等)

- ・環境経営方針： 制定した方針を継続する。
- ・環境経営目標及び計画： 2 0 2 4 年度からの指標・目標で活動計画を作成、継続する
- ・環境経営システム全般： 社内ミーティング（2 か月に 1 回）、班長会議・安全衛生委員会（毎月）において継続して従業員の環境に対する意識向上を図る。
- ・実施体制： 現状の体制を継続する。

以 上